

エスニック・スタディズの眼から見た

1970年アメリカ占領下のコザ蜂起

The 1970 Koza Uprising in U.S.-Occupied
Okinawa from an Ethnic Studies Lens

話題提供

ウェスリー上運天 氏

(サンフランシスコ州立大学エスニック・スタディーズ学部教授)

6月21日(水)

午後3時30分～5時30分

無料

大阪公立大学

人権問題研究センター 共同研究室

定員 対面 10名 オンライン 100名

事前申込・先着順

本報告は、沖縄系アメリカ人の視点から見た1970年のコザ蜂起について論じる。

この視角は、エスニック・スタディズで獲得されたものであり、コザ蜂起をアメリカ合衆国のグローバルな帝国主義と軍国主義の文脈でとらえ、またそのような帝国主義や軍国主義からの解放をめざす、国境横断的(トランスナショナル)でさまざまな共同体を貫いた(トランスコミューナル)希望を明らかにし、回復させるものである。

In this presentation, I talk about the Koza Uprising of 1970 from the point of view of an Okinawan American. This perspective has been informed by my training in the field of Ethnic Studies and looks at the Koza Uprising in the context of U.S. global imperialism and militarism as well as uncovering and recovering transnational and transcommunal aspirations for liberation from such imperialism and militarism.

参加希望者は otazune@rchr.osaka-cu.ac.jp に前日正午までにご連絡ください。

定員に達し次第締め切りとさせていただきます。お問い合わせはセンターまで